

### 展覧会

**G**: ガラリートーク (企画展示室展示解説) **講**: 講演会 **C**: コレクショントーク (上杉文庫館展示解説) いずれも 10:00~15:00~2回

**企画展示室**

10/10(日) 特別展 **狩野派** ~永徳とその周辺~  
**G** 10月9日(土) 9:15~  
 要入館料、事前申込制、定員10名

9/11~10/10 国宝上杉本洛中洛外図屏風 原本展示

10/16(土) 12/8(水) 開館20周年企画展 **上杉家伝来能面・能装束** ~語りはじめた面袋~  
**講** 10月31日(日) 14:00~  
 「面袋はかく語りき ~近世大名の能道具~」  
 国立劇場調査養成部調査資料課調査係長 門脇幸恵氏  
 2階大会議室にて、聴講無料  
 事前申込制、定員80名

休館日 10/27 11/24 12/6  
 11/3 博物館無料入館日 東北文化の日 どなたでも無料

**G** 10月16日(土) 17:15~  
 要入館料、事前申込制、先着20名

2/11(金・祝) 開館20周年コレクション展  
 3/13(日) **上杉家文書の世界VI** ~戦国の交渉~  
**G** 2月11日(金・祝) 17:15~  
 先着20名  
 3月13日(日) 9:15~  
 先着10名、要入館料、事前申込制

**常設展示室**

9月23日(木・祝)~  
 11月23日(火・祝)  
 定勝の文芸①  
 ~漢詩文と歌~  
**C** 9月26日(日)

11月25日(木)~  
 2022年1月30日(日)  
 定勝の文芸②  
 ~定勝と書物~  
**C** 11月28日(日)

12月11日(土)~  
 2022年1月10日(月・祝)  
 奥羽再仕置430年記念展示  
 天下統一と上杉氏  
**C** 12月11日(土)

2月1日(火)~  
 3月27日(日)  
 我が子へ  
**C** 2月6日(日)

### 教育普及事業

**募**: 募集制ワークショップ (要事前申込、有料)

11月3日(水・祝) 13:30~16:00  
 だれもしらない博物館  
 博物館バックヤードツアー

11月12日(金) 19:00~20:30  
 ナイトツアー  
 ようこそ夜の博物館へ  
 ~お能のひ・み・つ~

11月3日(水・祝) 13:30~16:00  
 だれもしらない博物館  
 博物館バックヤードツアー

11月12日(金) 19:00~20:30  
 ナイトツアー  
 ようこそ夜の博物館へ  
 ~お能のひ・み・つ~

### ホール

よねざわ市民ミュージカル  
 レッスン  
 10/29(金)  
 11/19(金)  
 12/3(金)  
 2022.1/7(金)  
 いずれも 19:00~21:00  
 ※会場や見学方法についてはお問い合わせ下さい(要申込)

11/13(土) 14:00 開演  
 能面から知る能の世界

11/23(火・祝) 15:00 開演  
 AUN J  
 クラシック・オーケストラ  
 NIPPON 応援和楽器 LIVE

1/22(土) 14:00 開演  
 三遊亭円楽・  
 林家たい平  
 二人会

2/20(日) 15:00 開演  
 山形交響楽団  
 ユアタウンコンサート  
 米沢公演

※感染拡大により記載内容に変更が生じる場合があります。最新情報はお問い合わせください。

### 新型コロナウイルス感染症 拡大防止にご協力ください。

手指の消毒

マスク着用

検温

密を避ける 距離をとる

2m

■博物館チケット半券は2週間程度保管下さい。(ご来館日がわかります。)

■ホール自主事業ではチケットご購入の際お名前、ご住所など連絡に必要な情報のご提供をお願いしています。

# 狩野派

開館20周年記念特別展

後期 9月11日(土)~10月10日(日)  
 休館日 9/22(水)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示

9.11(土)-10.10(日) 企画展示室にて

永徳とその周辺

国宝・観楓図屏風(部分) 狩野秀頼(東京国立博物館)【後期】Image:TNM Image Archives

### ミュージアムショップ

魅力的な展覧会図録や、展示にあわせた商品を取り揃えています。是非お立ち寄りください。

収蔵品を活かした自慢のオリジナルグッズには、20年のロングセラーも。館内ショップ、WEBショップでお求めいただけます。

<https://uesugi-museum.jp>

### 伝国の杜ファンクラブ

令和3年度会員入会受付中♪

●博物館の展示を何度でも無料でご覧いただけます。  
 ●ホールチケットを先行予約、割引価格でご購入いただけます。  
 ●伝国の杜だよりなどの情報をお届けします。  
 ●ミュージアムショップ・カフェがお得に利用できます。

年会費	□一般会員	2,500円
	□学生会員	1,000円
	□ジュニア会員	500円

10月1日からは 1,250円  
 下半期の □学生会員 500円  
 会費になります □ジュニア会員 250円

□申込方法:  
 ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、伝国の杜事務局にてお申込ください。  
 ■お問合せ 0238-26-8000

### 伝国の杜サポーター

「伝国の杜サポーター」は、当館の事業を表側と裏側とで支えてくださっているボランティアです。現在10代から80代までの皆さんが館内案内、広報、図書整理など、8つの分野で活動しています。新規メンバーの募集も通年行っていますので、お気軽にお問合せ下さい。

通常の活動以外にも花植えなど「おもてなし」の活動をしています。

### ミュージアムカフェ クルチュール

自慢のカプチーノ、米沢特産のうごぎを使ったドリンクやスイーツで極上のひとときをどうぞ。

現在、土日祝日のみ営業となります。  
 営業時間: 10:00~15:30 (ラストオーダー)

城址周辺の四季の変化を楽しめる店内

「伝国」という言葉は、米沢藩9代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

◆利用案内◆ ※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

博物館開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
 休館日: 5~11月 第4水曜日 12~3月 毎週月曜日 (いずれも休日の場合はその直後の平日)  
 年末年始 12/27~1/1 ※1/2, 3は開館(予定)

博物館入館料: 常設展 一般 410(330)円  
 高大生 210(150)円 小中生 110(60)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 ※特別展・企画展は料金が異なります。HP等でご確認下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1  
 米沢上杉文化振興財団 Tel 0238-26-8000  
 米沢市上杉博物館 Tel 0238-26-8001  
 置賜文化ホール Tel 0238-26-2666  
 FAX 0238-26-2660

発行/米沢市上杉博物館 置賜文化ホール 編集/公益財団法人 米沢上杉文化振興財団 発行日/令和3年9月 印刷/株式会社青葉堂印刷

## 伝国の杜だより

ANNIVERSARY 20TH Feel the arts 開館20周年特集号

米沢市上杉博物館 置賜文化ホール  
 Autumn 2021 VOL.40

伝国の杜は9月29日で開館20年。これまでの感謝をこめて周年事業を展開しています。これからも皆様に愛され、喜んでいただける施設を目指してまいります。

## 上杉家伝来 能面・能装束

語りはじめた面袋

開館20周年記念企画展

東北文化の日参加事業  
 博物館無料入館日

11/3(水・祝)  
 どなたでも無料です。

2021.10.16(土) - 12.8(水)

休館日 10/27・11/24・12/6

常設展・企画展一体型

## 開館20周年記念企画展 「上杉家伝来能面・能装束 ～語りはじめた面袋～」

会期 10月16日(土)～12月8日(水)  
休館日 10/27(水)、11/24(水)、12/6(月)  
料金 一般700(560)円、高・大生450(360)円、小・中生300(240)円  
※( )は20名以上の団体料金

特別協力 東京国立博物館  
協力 服飾文化共同研究拠点 文化ファッション研究機構 文化学園大学  
野上記念法政大学能楽研究所 共同利用・共同研究拠点  
「能楽の国際・学際的研究拠点」

助成 公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)  
江戸時代、米沢藩主上杉家においては、幕府の式楽となった能楽に取り組み、2代定勝、3代綱勝、4代綱憲、8代重定の愛好ぶりが目立ちます。一時は蔵2棟に保管するほどのコレクションであった上杉家の能面や能装束などの能道具は、明治時代に入り、散逸してしまいます。

能面を保護するための『面袋』は、今まで資料として顧みられることはありませんでしたが、そこには、面の旧蔵者をたどる上で非常に重要な情報が蓄えられていることがわかってきました。

本展では、『面袋』の情報や、それを裏付ける写真、文献資料により上杉家伝来であることが確認された能面と、明治期から昭和22年にかけて東京国立博物館に収蔵された上杉家伝来能面、能装束を里帰り展示し、上杉家能楽資料の現在と上杉家における能楽の歴史や能道具管理などについて紹介します。



### ◆講演会 参加無料 事前申込制

10月31日(日)14:00～16:30  
「面袋はかく語りき～近世大名家の能道具～」  
講師：国立劇場調査養成部調査資料課 調査係長 門脇 幸恵氏  
会場：伝国の杜 2F大会議室 定員：先着80名(予定)

### ◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説) 要入館料 事前申込制

10月16日(土)17:15～ 企画展示室にて 先着：20名

上記いずれも事前申込：9/22(水)9:00～受付

### ◆ナイトツアーようこそ夜の博物館へ 参加費500円 事前申込制

「お能のひ・み・つ」  
11月12日(金)19:00～ 企画展示室にて 先着20名  
事前申込：10/13(水)9:00～受付

## 常設展示室 上杉文華館 年間テーマ：上杉定勝

国宝「上杉家文書」のうち、2代藩主・上杉定勝に関わる史料を中心に展示。国宝「上杉家文書」は約一か月ごとに展示替えします。  
※内容は変更になる場合があります。

- ④9月23日(木・祝)～11月23日(火・祝)「定勝の文芸①～漢詩文と歌～」
- ⑤11月25日(木)～2022年1月30日(日)「定勝の文芸②～定勝と書物～」
- ⑥2月1日(火)～3月27日(日)「我が子へ」
- ★国宝上杉本洛中洛外図屏風(複製)もご覧いただけます。

CT(コレクショントーク)について  
各回10:00～、15:00～の2回行います。  
★要常設展入館料

CT：9月26日(日)  
CT：11月28日(日)  
CT：2月6日(日)

## 米沢市上杉博物館

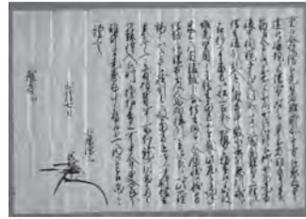
### 開館20周年記念コレクション展 「上杉家文書の世界VI～戦国の交渉～」

会期 2022年2月11日(金・祝)～3月13日(日)  
休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)  
料金 一般210(160)円、高・大生110(80)円、小・中生50(40)円  
※( )は20名以上の団体料金

国宝「上杉家文書」には、16世紀、戦国時代の上杉氏の外交文書が多数含まれており、これが特徴の一つとなっています。この展覧会では、上杉謙信や景勝と、東国の領主たちとの外交を示す文書を展示し、その歴史の意味とともに、「上杉家文書」の最大の特徴である、当初の文書の形態を紹介し、その意味するところに迫ります。

主な展示資料(予定)

- (永禄12年)正月7日北条氏照書状
- (永禄12年)4月1日真壁氏幹書状
- (永禄12年)閏5月16日広泰寺昌派書状
- (天正6年)6月12日武田信豊朱印状
- (天正10年)2月20日武田勝頼書状 ほか
- いずれも国宝「上杉家文書」



(永禄12年)正月7日北条氏照書状(当館)

### ◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説) 要入館料 事前申込制

2月11日(金・祝)17:15～ 先着20名  
3月13日(日)9:15～ 先着10名  
※事前申込 1月12日(水)9:00～  
企画展示室にて、要コレクション展入館料

### 奥羽再仕置430年記念展示 「天下統一と上杉氏」

会期 12月11日(土)～2022年1月10日(月・祝)  
休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始  
料金 常設展示室入館料 一般410円、高・大生210円、小・中生110円  
※常設展示の一環として行います。

豊臣秀吉の天下統一の仕上げとして行った奥羽再仕置から430年を記念して、上杉景勝とその関係を紹介する展示。天正18年(1590)に小田原北条氏を滅ぼした秀吉は、奥羽の諸領主を服属させ、検地や刀狩を実行します。翌年、これに反発した奥羽領主たちの武力蜂起を鎮圧し、大名の再配置や諸政策を実行したのが奥羽再仕置でした。

この展示は栃木県立博物館・福島県立博物館を中心とした、13館の連携展示です。

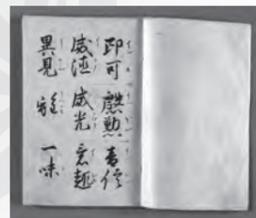
◆コレクショントーク 12月11日(土) 10:00～15:00～  
★要常設展入館料

主な展示資料

- 上杉景勝像
- 国宝「上杉家文書」(天正18年)9月18日豊臣秀吉朱印状
- 国宝「上杉家文書」(天正19年)8月18日豊臣秀吉朱印状
- 国宝「上杉家文書」(天正19年)9月12日豊臣秀吉朱印状ほか



上杉景勝像(当館)



上杉定勝自筆節用集写(当館)

### ご来館の方へ のお願い ～感染症予防～

- ・混雑状況により入場制限を行う場合があります。10名以上でのご利用の際は予約をお願いします。
- ・館内では、マスクを着用し、他のお客様と十分な距離を保ってご利用ください。
- ・館内で新型コロナウイルスが発生した場合に備え、チケット半券(入場年月日記載)の保管をお願いします。



## 教育普及事業 つくるたのしさ 無限大 プレイシヨップ

8月27日(金)～  
9月23日(木・祝)  
ぐるぐるマーブリング  
木星のもようをめがせ!

9月25日(土)～  
10月26日(火)  
モールでつくろう!  
すてきなオーナメント  
くねくねじゅうに

10月29日(金)～  
11月23日(火・祝)  
きものデザインの  
ブックマーカーをつくろう  
マスキングテープでたのしく

※プレイシヨップは申込不要(団体利用はご予約下さい)、参加無料です。  
※ワークショップなどのある日はお休みです。  
教育普及だよりの年間カレンダー、公式HPをご覧ください。

11月26日(金)～  
12月22日(水)  
型絵染の年賀状  
伝統模様をそめる

2022.1月2日(日)～  
1月26日(水)  
ハニカムペーパーを  
たのしもう!

1月29日(土)～  
2月24日(木)  
しぶきで描こう!  
スパッタリング  
とびだすカードづくり

2月25日(金)～  
3月23日(水)  
紙でつくろう!  
かわいいおひなさま  
和紙ですてきに

米沢市上杉博物館教育普及事業では開館から現在まで428回のワークショップの展開で10,011人、学校との連携では、60,798人のお客様との出会いがありました。これからも日常を美しく、楽しくしていくプログラムを提供し、よりよく生きるための教育普及事業をめざしていきます。



### 募集制ワークショップ

事前にお申込みください。(定員になり次第締め切ります)  
参加費 各500円

### だれもしらない博物館 博物館バックヤードツアー

11月3日(水・祝)  
13:30～16:00  
対象：どなたでも  
定員：10名  
募集開始：10/6(水)

### ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ お能のひ・み・つ

11月12日(金)  
19:00～20:30  
対象：どなたでも  
(中学生以下は保護者同伴)  
定員：20名  
募集開始：10/13(水)



はな 活発でダイナミック。手をうごかして何かを作ることが得意。日本のわざを数々マスターしているが、お昼ねをしないと技がはえない。

ぶち いろんなものに興味あり。発想力が抜群。動物や宇宙のことを考えるのが好き。意外にはずかしがりや。

びよ ぶち、はなのペット。ふたりの抜けているところを瞬時にカバーする。出来る鳥さん。

米沢市上杉博物館に住んでいる教育普及のキャラクターたちを紹介します。

色の精 体験学習室を守護するたきんの色。いっつも死と話をしている。

・出前授業、スクールプログラムの事例などはHPに掲載。お気軽にご相談ください。お問合せ0238-26-8001(教育普及担当)

## モールの作品展示予定

Uesugi Museum Art Collection

総合案内前では、当館アートコレクションから郷土作家をメインに作品を定期的に入れ替えながら展示しています。ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

- 9月23日(木・祝)～11月23日(火・祝)  
高瀬捷三「眼鏡橋秋色 米沢上杉公園」  
昭和時代 キャンバス・油彩  
高瀬捷三「青根山荘にて」  
昭和時代 キャンバス・油彩
- 11月25日(木)～2022年1月23日(日)  
本間国生「水墨日本風物抄 第三十一回 冬山」  
昭和30年代 紙本墨画淡彩
- 2022年1月25日(火)～3月27日(日)  
広瀬 功「白馬の春(白馬三山)」  
制作年未詳 キャンバス・油彩

※展示作品は都合により変更になる場合があります。

## 収蔵品 学芸ノートから

上杉重定所用 厚板 紅茶白段唐鍔菱打板に紗綾型獅子花入亀甲文様

江戸時代 18世紀 丈 148.5cm 桁 72.0cm

本資料は能に造詣が深かった米沢藩8代藩主上杉重定が着用したと伝えられる能装束です。上杉家では4代藩主綱憲以降、代々豪快な動きと華麗な舞を特色とする金剛流を愛好していました。

経六枚綾地に金糸で唐鍔と紗綾形の2種の地文を織り出し、唐鍔文の上文には菱と打板の文様を、紗綾形文の上文には獅子丸と花入亀甲の紋様を縫取織で織り出した厚板です。縫取織に用いられる絵緯糸には紅・白・紫・水浅葱・浅葱・藍・淡黄・金茶・萌黄と10色あまりの色糸を用い、重厚な文様に華やかさを加えています。

厚板に金糸が織り込まれ、文様が具象化して壮麗になる傾向は、能楽を愛好した5代將軍徳川綱吉の時代以降とされ、この厚板も当時の華やかな傾向を示す江戸時代中期の制作と考えられます。中でも数種の上文をバランス良く配置して織り出した豪奢な作例です。能装束の厚板は、武将、神、鬼神など男性のシテ(主役)を演じる際に、狩衣や法被など表着の下に着付として用いられるものですが、江戸時代に入ると、役柄に合わせてさまざまなデザインが創り出されました。時代背景と伝来が合致する、デザイン性を備えた優品です。





11/13(土) 14:00開演

能面から知る能の世界

※企画展「上杉家伝来能面・能装束～語りはじめた面袋～」連携企画



小鍛冶の1シーン【能面：小飛出】

能面は、「おもて」といわれ、曲の位を支配するほど重要なものです。ほとんどの場合、能面には役専用の面はなく、演目によって種類が決められています。最終的にどの面を使うかは、能のプロデューサーであるシテに任せられます。

神様を表す能面が登場する演目では、「神舞」とよばれる非常に速いテンポの舞が、颯爽と品格を伴って舞われます。また、女性を表す能面が登場する演目では、「序の舞」とよばれるゆっくりとしたテンポの舞が美しく舞われます。そのような違いを楽しみつつ能面と能の面白さを更に知っていただける舞台です。能楽師による能面の解説で演目の世界がより身近に感じられる内容です。

上杉博物館企画展「上杉家伝来能面・能装束～語りはじめた面袋～」とともにご覧ください。

ticket

【全席指定】2,000円

※上記金額は前売一般料金です。  
※未就学児は入場できません。

番組（金剛流）

舞囃子 高砂 シテ（住吉明神）：山田伊純  
舞囃子 八島 シテ（源義経の亡霊）：宇高竜成  
舞囃子 羽衣 シテ（天女）：豊嶋晃嗣  
半能 小鍛冶 霊狐（稻荷明神の使）：山田伊純 三条宗近：原陸

11/23(火・祝) 15:00開演

アウン ジェイ AUN J クラシック・オーケストラ NIPPON 応援 和楽器 LIVE

「1000年続く和の音を、1000年先まで伝えたい。」をコンセプトに、2008年に和楽器のみで編成されたユニット、AUN J クラシック・オーケストラ。

思わず手拍子をしたくなるような楽しいオリジナル曲は、普段馴染みのない和楽器の面白さを知ることができます。さらに、誰もが知っているクラシック曲やアニソンの和楽器アレンジも披露。聴き馴染みのある曲でも楽器が異なると雰囲気も少し変わります。その違いをお楽しみください。大人から子どもまで楽しいひと時を過ごせると同時に、触れる機会の少ない和楽器の魅力に心を動かされます。

メンバー

井上 良平（和太鼓・三味線） 井上 公平（和太鼓・三味線・笛）  
石垣 征山（尺八） 山田 路子（篠笛） 市川 慎（箏・十七絃）  
山野 安珠美（箏・十七絃） 尾上 秀樹（中棹三味線）

予定プログラム

★日本応援団2020 ★万殊の灯りに想いを馳せて ★絢爛バサラ  
★新世界より（ドヴォルザーク作曲）★紅蓮華（テレビアニメ「鬼滅の刃」OPテーマ）  
ほか ※曲目は変更になる場合があります。



ticket

【全席指定】  
一般 3,500円  
学生 2,000円

※上記金額は前売料金です。  
※未就学児は入場できません。

2022年  
2/20(日) 15:00開演

山形交響楽団ユアタウンコンサート 米沢公演



プログラム

サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン 作品20  
ベートーヴェン/ロマンス 第2番 へ長調 作品50  
モンティ/チャルダッシュ  
シューマン/交響曲 第1番 変ロ長調「春」作品38 他

春を告げるシューマンを指揮するのは若手のホープ太田弦！2月の米沢はまだ、春の訪れが待ち遠しい季節、ひと足早くお客様の心へと春の風をお届けします。

そんな心躍る季節にふさわしいヴァイオリンのはなやかな技巧曲「ツィゴイネルワイゼン」では、ヴァイオリニスト松本蘭と山響のタッグが今からとても楽しみです。

本公演は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている山形県内の文化団体の支援制度「やまがた文化応援キャンペーン」が適用となるお得な入場料です。

ticket

【全席指定】一般 4,000円 → 応援割で 3,200円 他  
※上記金額は前売料金です。  
※未就学児は入場できません。

発売日

一般発売10/28(木) 9:00  
伝国の杜FC会員先行予約 10/20(水) ~24(日)

2022年  
1/22(土) 14:00開演

三遊亭円楽・林家たい平 二人会



お茶の間でも大人気の落語家が、開館20周年記念事業で再び登場。毎年好評を博していた落語会は実に2年ぶりの開催となります。笑いの灯、古典芸能の伝統を絶やさないために今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインに沿って、工夫を凝らして開催します。お二人の話芸を聞きにぜひ足をお運びください。

ticket

【全席指定】4,000円  
※上記金額は前売料金です。  
※未就学児は入場できません。

発売日

一般発売 11/18(木) 9:00  
伝国の杜FC会員先行予約  
11/10(水) ~ 14(日)



伝国の杜で頑張る団体の軌跡

伝国の杜こども狂言クラブ

伝国の杜開館と同時に始まったこども狂言ワークショップは、2005年に正式なこども狂言クラブとして活動を始めました。

現在7名の子どもたちが年度末の成果発表会に向けて、小舞・狂言の稽古を楽しんでいます。



小舞「兎」  
狂言クラブに入会して  
最初に習う小舞です。



狂言「茸」  
4~9歳のキノコ達が  
能舞台をびよこびよこ



創作狂言「猿かに」  
クラブで創りみんなで  
出演しました。



月1回の狂言師による稽古は、笑いもあつぽ真剣そのものです。

よねざわ市民ミュージカル 伝国座

2009年に誕生した米沢初の本格的ミュージカルグループ。名前の由来は上杉鷹山公の「伝国の辞」。ケネディ大統領もリスペクトしたという鷹山公の時代を超えた先見性を顕彰し、市民の力で米沢の歴史や偉人にまつわるミュージカル作品を上演し発信していこうと、プロの指導を受けながら楽しく稽古を重ねています。

2009  
制作発表、オーディションを経てレッスン開始。

2010~2013  
第1作オリジナルミュージカル「Faith(フェイス)~未来をつむぐ実験室」に出演。同作は2度の東京公演を含め計13回上演。

2014  
全国田んぼアートサミット in 米沢で上演されたミュージカル「常長の祈り」に出演。

2016  
新作公演にむけて新メンバーとのレッスンを開始する一方、「Musical Songs Medley ~ミュージカルを彩るソング&ダンス~」に出演。

2017  
第2作オリジナルミュージカル「梵天丸(ぼんてんまる)」に出演。伊達政宗生誕450年の節目を祝う。

2018  
帝人株式会社100周年記念イベントで「Faith」short version 出演。

週1回のレッスンと、置賜文化ホールで年1回の成果発表公演など活動を継続中。

